

フィンドレー大学留学報告書

鈴木ひばり

気づけば留学報告書を書くのも残り2回となりました。月日が経つのは本当に早いですね。

3月は行事が目白押しでした！

3月8日はインターナショナルナイトがありました。このイベントは、フィンドレー大学に通う様々な国の人達が各国の伝統的な踊りをしたり、歌を歌ったり、各国の料理を振る舞ったりするイベントです。私達は日本代表として、パフォーマンスはYOASOBIのアイドルという曲に合わせたオタ芸を、料理はみたらし団子、味噌汁、おにぎりを振る舞いました。オタ芸の練習はコンスタントに行われ、忙しい中ということもあり大変なこともありました。高校の文化祭を思い出しつつ青春を取り戻すようにみんなで練習に打ち込むことができました。私たちのパフォーマンスはトリということもあり、緊張やアクシデントもありましたが、無事に成功させることが出来ました。パフォーマンス中にも観客の方の歓声などが聞こえてきて、終わった後は感無量の気持ちでした。想像以上に楽しかったインターナショナルナイト、もう一度やりたいくらいです。

そしてそして、なんとと言っても3月は私の誕生日があります。フィンドレーで出会った大切な友達達に祝ってもらいました。無事にアメリカで21歳を迎えることができ、素敵な人たちにも恵まれ、周りの人に感謝できる素敵な1日になりました。



14日にはトルネードがフィンドレーを襲いました。夕飯を学食で食べている時にサイレンが鳴り、友達の地下室がある生徒に呼んでもらい、一緒に地下に避難しました。私にとっては初めてのことなので大慌てでしたが、他の生徒達は慣れている様子で、談笑している様子なども見受けられました。幸い、フィンドレーは大事には至りませんでした。

3月後半にはアメリカの大きいイベントの一つ、「Easter」があります。今年になってから日本人のクリスチャンの友達と週に一回 Bible Studyをやっているのですが、Easterの意味などを知ってから参加することが出来ました。友達の家を招いていただき、卵を染めたり、エッグハンティングをしたり、美味しい手料理を食べさせていだいたりと本当に幸せなひと時でした。私は人生で初めてのイースターだと言うと、みんなとびっきりの笑顔で迎えてくれて、沢山人色んな経験をさせていただき、本当に感謝です。

留学も残すところ後1ヶ月となりました。物事には全て終わりが来ると言いますが、まさか自分の留学が終わる番が来てしまうなんて考えられません。日本に帰ってからやりたいことは沢山思いつきますが、今一緒に過ごしている大好きな人たちと離れるとなると全く想像できません。それほど幸せな留学生活を送ってきた証だとも思います。最近は日常的に英語を話す場面に身を置くことにより重視し、日本語を話すことが疎かになってきたことを感じます。このままの日本語で日本に帰ったら話し相手が鼻につく日本語だろうななんて考えながら過ごしています。

残りあと1ヶ月、今まで私を支えてくれた人たちへの感謝を忘れずに最後まで自分らしく走り抜きたいと思います。

日本に帰りたくないT_T

